

## 一関地方農林業振興大会において「一関地方森林組合室根婦人部 はなみずきの会」が一関地方農林業賞を受賞しました！

### 1 はじめに

令和5年11月10日(金)に令和5年度一関地方農林業振興大会において、農山村女性活躍部門組織の部で、「一関地方森林組合室根婦人部はなみずきの会」(以下「はなみずきの会」という。)が令和5年度一関地方農林業賞を受賞したことから、受賞に至ったこれまでの活動について紹介します。

### 2 取組活動の特徴について

「はなみずきの会」は現在、一関地方森林組合室根婦人部として18名で活動をしています。

昭和56年に「室根村森林組合婦人部(前進)」として発足し、平成4年に活動の幅を広げるために団体名を現在の名称に変更しました。林業に携わる・携わりたいとの思いがあり、林業の研修会等への参加のみならず、中間収入を得るため、これまで、「リース」や「どくだみ水」、「ヤマブドウの加工品」「籐細工」など、山の整備をしながら得られる足元にある資源を活用したオンリーワンの商品開発を行ってきました。

平成9年から28年までは、森林組合の青年部が組合の敷地内に建設したログハウスを活用し、毎月1回、はなみずきの会が開発した商品等を販売する「もりもり市」を開催し、地域住民の交流や情報交換の場としても大いに賑わっていました。

近年では、会員の遊休農地を活用して、オシマザクラの苗木を植栽し、桜葉等、町内の食材で製造した「桜葉まんじゅう」を開発し「道の駅むろね」で販売し好評を得ており、令和2年度には、林業への振興や地域活性化へ強く寄与する活動が高く評価され、全国林業グループコンクールで農林水産大臣賞を受賞しました。

このように今までの活動の功績と、今後においても地域の林業振興の中心的な役割を担うことが期待できると認められ、受賞の栄に浴されたものと考えられます。

### 3 おわりに

当日は、「はなみずきの会」を代表して、副会長の小山恵子さんが表彰を受けました。表彰式の後の活動発表の場で副会長の小山恵子さんは、「桜葉まんじゅうの開発までの苦労」やこれからも「気楽に、楽しく、背伸びせず、できることを！」をモットーに活動を行っていくこと。また、何れ商品を和菓子店に売り込むことを目標としていることを力強く述べられていました。

一関農林振興センターでは、今後の活動を継続的に行っていただけるようまた、更なる発展に向け活動支援を行っていくこととしています。



【受賞状況】



【一関地方農林業賞受賞者】